

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ポラリス☆キッズ		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 18日		～ R6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 18日		～ R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全体がより良い支援についてをしっかりと考え、その為にはどうすればいいかを意見しあえるところです。	普段から気軽に意見が出し合えるような環境、関係性作りを心がけています。 職員会議では職員からの意見や提案を積極的に取り入れ、日々の子どもの支援に生かしています。	今後もさらに職員間のコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。
2	職員の入れ替わりが少なく、長く勤めている職員が半数以上いること、新しい職員も様々な福祉現場で経験を積んだ職員が多いところです。 R6年12月現在、職員全員が有資格者です。	職員が働きやすく、楽しいと思える職場になるよう職員間のコミュニケーションを大事にしています。	外部研修への積極的な参加や勉強会などで更なるスキルアップを目指します。
3	音楽療法士による音楽療法を週に1回行っています。	・普段出会えないような珍しい楽器に触れる機会を設けています。 ・癒し効果や心身の発達、心の安定につながるような活動を心がけています。	今後も子どもたちの五感を刺激するような活動をしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する機会がないことです。	建物内に他事業所も入っているため、コロナが流行ってから制限が厳しくなりイベントなどの開催もできていません。	来年度よりイベントを再開予定です。
2	子どもたちがどのように過ごしているか、毎日の連絡帳や送迎時に口頭で伝えてはいるが、実際に見ていただく機会がないことです。	ほとんどが送迎を利用しており、お部屋の様子を見ていただく機会がありません。	参観や、一緒に参加できるような行事を取り入れていきたいと考えています。
3	災害時対応や訓練が保護者に周知されていないことです。	年に2回、建物全体の避難訓練があるが、利用日によっては参加したことがないお子さんもいます。	訓練の回数を増やし、全員が年に1回は参加できるよう調整していきたいです。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	ポラリス☆キッズ	公表日	R6年 12月 25日
		利用児童数	25
		回収数	18

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1	作業療法士は配置されないか	今のところ配置予定はありませんが、療育センターの作業療法士、理学療法士からのアドバイスをいただいで支援をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2		5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	1	7		積極的に研修案内などの情報提供を行っていきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16		1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	9		コロナの流行から茶話会などの行事がなくなってしまったので再開を検討しています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2		2		お困りごとや相談事がありましたらお気軽にお知らせください。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		3	各種マニュアルを作成しております。年度末には職員で会議を行い見直しを行っております。保護者様よりご要望があれば開示させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		5	行っていますが、利用日によっては訓練に参加したことのない利用児もいるので、全員が訓練に参加できるように訓練の回数を増やしていくことを検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ポラリス☆キッズ		公表日		R6年 12月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	8	部屋は1つですがテラスがあるので、お部屋だけで狭いと感じる時はテラスも活用し、2つに分かれて過ごしています。	今後も工夫して快適に過ごせるよう努めます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	基本、多めに配置しています。	今後も継続していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	・視覚支援も取り入れながら、子どもが分かりやすい環境作りを心がけています。 手洗い場などのサイズが子ども向けでないですが、ステップなどで調整しています。	今後も継続していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	他事業所の清掃が入っています。それとは別に日課としてトイレ掃除、床掃除、ロッカーなどの消毒を行っています。	より一層丁寧に清掃を行っていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	9	部屋は1つですがパーテーションで区切ったり、お部屋がしんどくなったらテラスや事務所で過ごしたりしています。	今後も継続していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12		年度末に振り返り、目標設定を行っています。	今後も継続していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		ご意見いただいたことについて職員で改善に向けての話し合いをしています。	今後も継続していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		職員会議で意見交換を積極的に行い、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人人内で研修を開催する機会が確保されているか。	12		内部研修の他、外部研修の情報収集も積極的に行い、興味のある研修には参加できる体制を確保しています。	今後も継続していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1	適切に支援プログラムの作成をしております。	公表につきましては、今年度中を目標にホームページに掲載予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		半年に1度面談を面談を行い、計画を立てております。	今後も継続していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		担当者会議を行ったうえで本案を作成しています。	今後も継続していきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	職員会議で支援内容などの共有をしています。	今後も継続していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1	適切に行っています。	今後も継続していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	行っています。	今後も継続していきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		同じ活動の繰り返しにならないよう設定を考えたり、週ごとにリーダーを交代し固定化しないようにしています。	今後も継続していきます。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		適切に行っています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	7	正規職員で支援内容を打合せしたうえで、予定表に支援内容等を記入しています。	役割分担についてはあまりできていないのでしていきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	8	正規職員はサービス提供時間終了後に振り返りを行っています。パートさんへの共有は申し送りノートやSNSを利用しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	日誌、支援記録、連絡帳に記録をとっています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	適切に行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、直接支援を行っている保育士、児童指導員も出席しています。	今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	支援内容についての情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	保護者様や学校から要望があったり、こちらから学校側へ伝えておきたい内容等があれば情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	9		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時や連絡帳、LINEでのメッセージにて伝えられています。	今後も継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	9		積極的に研修案内などの情報提供を行ってきたいと思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に説明を行っております。	今後も継続していきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		面談にてご家族の意向を伺っております。	今後も継続していきます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		説明し、同意をいただいています。	今後も継続していきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		送迎時や連絡帳でのやり取りの他、必要に応じて電話や面談でやり取りをさせていただいています。	今後も継続していきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	9		茶話会の開催をしておりましたが、コロナ流行からできていないので再開できたらと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		適切に対応しています。	今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2	毎月の園だよりで発信しています。	HPでの発信を目指していますがまだ実現しておりません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		職員は入職時、契約更新時に個人情報取り扱いについての規則を確認しています。個人情報書類は鍵のかかる戸棚に保管しております。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		適切に行っています。	今後も分かりやすい説明をするよう心がけていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		各種マニュアルを策定し、訓練や研修を行っています。	ご家族への周知が出来ていないので契約時にしっかりと説明を行っていきたく思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		適切に行っています。	今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		服薬や発作に関してははっきりアセスメントを行い、初回利用日までに職員間で共有しています。	今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		医師の指示書に基づく対応をしています。また、アレルギーのお子さまについては別テーブルでの食事提供をしています。	今後も継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		安全計画を作成し、研修時に職員全員でマニュアルの見直しを行っています。危険だと感じるものがあれば随時マニュアルに追加をしています。	今後も継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	3	安全計画を策定し、研修時に職員全員でマニュアルの見直しを行っています。危険だと感じるものがあれば随時マニュアルに追加をしています。	ご家族への周知が出来ていないのでお知らせ等の配布を検討中です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	ヒヤリハットを書く習慣づけをしています。	ヒヤリハット事例の確認を各自していますが、検討会議はできていないので、職員会議の時に検討する機会を設けます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		入職時、年に1度の虐待研修を行い虐待防止に努めています。	今後も継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		車いす等を利用している方には説明、同意書へのご署名をしていただいています。また個別支援計画書に記載し、身体拘束記録をつけています。	今後も継続していきます。	